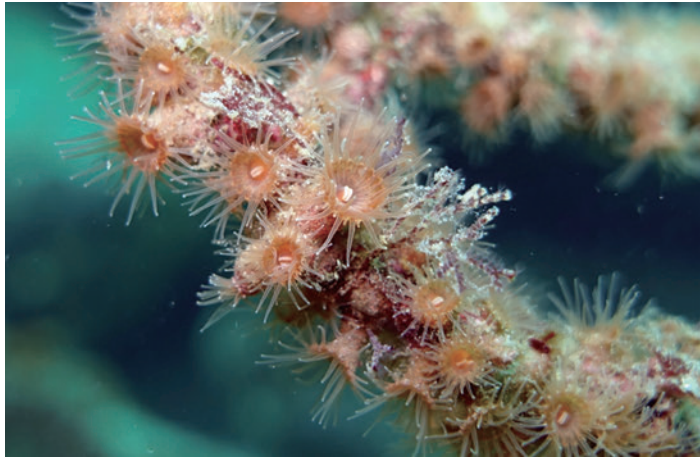


### トピック まなづるの海

## 新種発見！イワツノスナギンチャク



新種「イワツノスナギンチャク」。ゴカイの巣(棲管)に付着して暮らしている。和名は採取地の岩にちなんでつけられた。真鶴半島以外ではまだ見つかっていない。

真鶴町立遠藤貝類博物館の小渕学芸員が、岩海岸でのダイビング中に見つけたスナギンチャクの仲間が新種であることがわかりました。スナギンチャク類はイソギンチャクに近い動物で、多くの個体が集まって群体を作り、体に砂粒を取り込んでいることが特徴です。これまで世界中の海から約300種が知られており、真鶴半島沿岸では潮の引いた磯でもたまに見つかります。食用ではないのであまり知られていない生物ですが、近年、いくつかの種から骨粗鬆症の改善に効果のある成分等が見つかり、注目を集めている生物です。

海の生物は非常に多様で、漁獲対象となる生物以外は、名前の付いていない種もまだ多くいると考えられています。また、新種ではなくてもその生態が知られていないものもたくさんいます。身近な真鶴の海にもまだ知られていない生物がたくさんいるはずですよ。

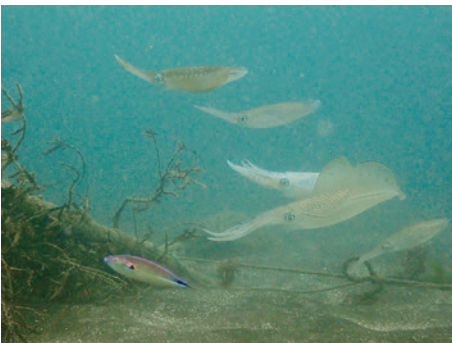
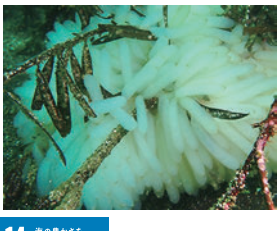
なお、町立遠藤貝類博物館では、スナギンチャクを紹介するミニ展示を7月中旬から開催する予定です。

### 海中の様子

## アオリイカの産卵がピーク 岩港沖産卵床

海の月報4月号でお伝えした岩港沖に設置された産卵床で、アオリイカの産卵がピークを迎えました。撮影に訪れた6月25日には最大15個体が産卵床の周りに集まる様子が確認されました。

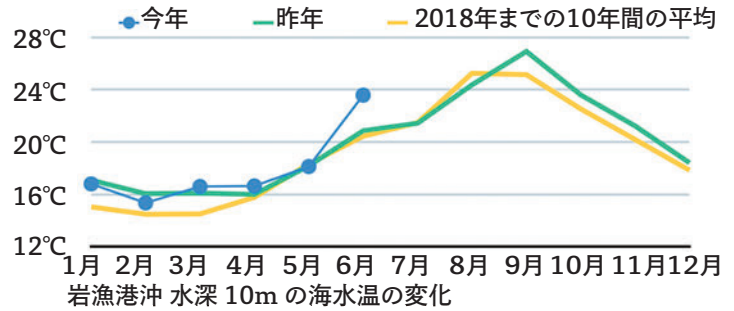
産卵床に近寄るアオリイカ(右)、下は産み付けられた卵のう(卵が入った袋)



### 真鶴の海況

## 海水温急上昇、黒潮の接近が原因か

岩漁港沖水深10mの6月の海水温は、先月より5℃以上高くなり、23.5℃となりました。これまでの調査の中で、6月では最も高い海水温です。黒潮の接近が原因かもしれません。<情報提供：横浜国大臨海環境センター>



### まなづるの漁獲情報

## 知られざる初夏の魚、コショウダイ



コショウダイ (体長50cm程度)

6月に入ると、アジやゴマサバなどの初夏らしい魚の水揚げが増えましたが、水揚げ量はこの時期としては、やや少なめとなりました。

今回紹介するコショウダイは、漁獲量がそれほど多くないため、普段お目にかかる機会は少ないですが、沿岸の岩礁域でカニやゴカイなどを食べて生活しており、春から初夏にかけて真鶴の定置網に入ります。夏の産卵後以外は一年を通して味がよく、最大60cmにもなる魚ですが、体が大きいものほど美味しいと言われています。

大きく硬い鱗や、太くて鋭い背びれを持ち、さばくには一苦労しました。漁協職員さんのおすすめで上質で癖のない白身をしゃぶしゃぶにいただきました。<情報提供：真鶴町漁協>

### 町立遠藤貝類博物館 7月中旬～8月のイベント

- 7月2日(金)より 特別展「セーラーズバレンタイン」
- 7月17日(土) ワークショップ「セーラーズバレンタインを体験しよう」  
町立遠藤貝類博物館【要申込・有料】
- 7月23日(金)、7月25日(日)、8月7日(土)、8月9日(月・祝)  
海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【要申込・有料】

町立遠藤貝類博物館は7～9月は木曜以外の毎日開館しています。詳細はHPをご覧ください。

まなづる 海の月報は、町立遠藤貝類博物館 HP からダウンロードができます。印刷、掲示・配布歓迎です。